

# わたしの 妊娠報告書

記載日 2019年 7月 26日

おめでた宣言日	2019年 3月
年齢 ( 29 ) 歳	平成 ( 27 ) 年 ( 8 ) 月 結婚
私は ( 顕微授精 )	で妊娠しました。

不妊治療歴	( 1 ) 年 ( 4 ) ヶ月 (他院含む)
他院での治療歴	なし (あり) → 内容 ( 排卵誘発薬 タイミング法 )
ASKAでの治療歴	
一般不妊治療	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 タイミング法 ( ) 回	
<input type="checkbox"/> 排卵誘発薬 タイミング法 ( ) 回	
<input type="checkbox"/> 自然排卵 +人工授精 ( ) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 排卵誘発薬 +人工授精 ( 2 ) 回	
生殖補助医療	
<input type="checkbox"/> DOST法 ( ) 回	
<input type="checkbox"/> 体外受精 ( ) 回	
<input checked="" type="checkbox"/> 顕微授精 ( 3 ) 回	

妊娠の秘訣・心がけていた事

体を冷やさないようにする (特に下半身)

食生活の改善

ストレスを溜めないよう気分転換する

# わたしの 妊娠報告書

## 治療にまつわる苦労話し

### 治療内容

糸音始前のフライワイルドで異常がなかったにも関わらず、タイミングをとってもなかなか妊娠に至らず貴院を受診しました。採血でAMH値ということが分かり、早急な治療を勧められ、最初はショックを受け動揺しました。しかし、すぐに気持ちを切り替え、人工授精、顕微鏡授精とステップアップし、またAMH値を考慮して採卵を3回行ったあとに凍物移植する方法で治療しました。初回の移植で無事に妊娠することができ、驚きと喜びで胸がいっぱいです。

### その他 (通院・治療費・家族など)

夫の職業が医師ということもあり、採卵日の言調整が大変でした。先生に本音話しながら、夫に協力してもらいなんとか行っていました。また、採卵を連続で3回行ったことで治療費がかかりました。夫の収入では国の補助を受けられませんが、全て自己負担で治療をしていました。

### 治療中の方へのアドバイス

私の場合は低AMHなこともあり、早く治療をステップアップしたいという焦りがありました。しかし採卵を行う前、排卵誘発剤が身体に合わず、1か月治療を休まなくてはならないことになりました。焦りと不安を感じていましたが、夫に「お休みも必要だよ」と言われ、力が抜け、方々に行きたくなど気分転換しました。そのおかげで、次のステップにリラックスして進めたのかなと思っています。先が見えない治療で不安は拭き切れないとは思いますが、時には肩の力を抜いて過ごすことも必要なのではないかと感じています。

### スタッフへのご意見など

低AMHと判り明したあと、動揺した私と夫は、中山先生に説明をお願ひしました。丁寧に、事実を包み隠さずはまりと話を下さり、治療を任せたいと思えました。また、私の年齢や2人目も希望していることを考慮し、見守りする選択を勧めて下さったことも感謝しています。看護師さん、会計さんなどスタッフの方は、私が質問しても丁寧な対応で親身に「答え下さり、とても助かりました。診察室でおめでとうございませうと言ってもらえたことは一生忘れられないと思います。本当にありがとうございます。